

第4回岩沼市議会定例会 市政報告

平成30年第4回市議会定例会
が7月3日～12日の会期で開か
れ、開会初日に菊地市長が市政
の概要について報告しましたの
で、主なものを掲載します。

復興事業の進捗状況

昨年度は、7年間の震災復興計画
マスタープランの最終年度に当たる
ことから、復興事業の進捗状況をと
りまとめたところ、計画した事業の
95%以上で完了の目途がつき、事業
の進捗割合は90%を超える結果とな
りました。

計画期間は終了したものの、現在
も東保育所や排水機場の整備などが
続いており、また、被災者の見守り
や心のケアなどの支援を継続する必
要があることから、国の計画期間で
ある平成32年度までの残り3年間の
取り組みべき事項を、フォローアッ
プ計画としてまとめ、復興の完遂を
目指していきます。

企業版ふるさと納税の推進

企業版ふるさと納税（地方創生庇
援税制）対象事業「みんなで盛り上
げる東日本大震災の復興シンボル
『千年希望の丘』プロジェクト」の
2年目となる昨年度は、県内外の企
業12社から総額660万円の寄付を

いただきました。

今年度は、千年希望の丘エリアの
周遊に便利な電動アシスト自転車
貸し出しを10月からスタートでき
るよう準備を進めています。

今後も、このプロジェクトに多く
の企業から賛同いただけるようPR
に努めるとともに、交流人口の拡大
に向けた取り組みを進めていきま
す。

（仮称）西部地区防災コミュニティセンターの整備

建設候補地について、西公民館機
能を継承する施設であるとともに、
玉浦コミュニティセンターと同様の
一時避難所の機能を兼ね備えるコ
ミュニティ拠点施設であることなど
を踏まえ、これまで適地の選定作業
を進めてきましたが、この度、北長
谷字内田地区を建設予定地に決定し
ました。

現在、施設建設に向けて各種手続
きに着手したところであり、今後
は、用地購入および造成のための測
量を進めるとともに、年度内をめど
に、地区住民の皆さまの参加をいた
だき、施設整備のための検討会を設
置する予定としています。

農業振興地域整備計画の見直し

東日本大震災以降の農業経営体や

土地利用状況の大きな変化を整理す
るため、今年度中に岩沼市農業振興
地域整備計画の見直しを行います。

主な見直しの内容としては、農業
法人の設立、農地の大区画ほ場整備
やライスセンター整備のほか、玉浦
西部地区の宅地造成や矢野目西地区の
企業用地の造成など、震災後の関連
事業を計画に反映させることを予定
しています。

避難道路整備事業および橋りょう災害復旧工事の進捗

避難道路の一つとして、9月末の
完成を目指している海岸道路から県
道塩釜巨理線までの東西を結ぶ寺
島海岸線の整備については、現在、
92%の進捗率となっています。

また、12月の完成を目指している
貞山堀のかさ上げに伴う新浜橋の架
け替え復旧工事については、現在、
89%の進捗率となっています。

これらの工事の完成により、避難
道路整備および橋りょう災害復旧事
業については、全て完了することと
なります。

玉浦西地区の空き区画の分譲および市街化区域編入

玉浦西地区の空き区画の分譲につ
いては、11区画あった空き区画のう
ち、10区画を昨年度内に、残りの1

区画を今年度5月に契約し、順次、
土地の引き渡しを行っています。今
回の分譲先は、全て子育て世帯と
なっており、予定通り入居が進めば、
本地区の高齢化率の低下が期待でき
ます。

なお、5月15日には、本地区の良
好な居住環境と適正な都市機能の確
保を目的とした市街化区域編入と都
市計画の用途地域の指定を実施して
います。

東部地区雨水幹線および排水ポンプ場などの整備事業

復興交付金事業として、日本下水
道事業団に業務委託している二野倉
工業団地内の二野倉第二1号雨水幹
線および二野倉第二排水ポンプ場
については、平成32年4月の供用開始
を目指して工事を進めており、現在
の進捗率は57%になっています。

また、恵み野地区の雨水排水対策
については、復興交付金事業で整備
した二野倉1号雨水幹線から調整池
へ接続するための雨水幹線の今年度
末までの完成を目指し、引き続き工
事を進めていきます。

※詳しくは、市ホームページを
ご覧ください。



6/13



▲たくさんの親子が参加しました

元気ないわぬまっ子が 育つことを願って

子育て講演会

保健センターで「子育て講演会」が行われ、市内の乳幼児親子など78人が参加しました。

今年度1回目の子育て講演会は、健康運動指導士の樋口和子さんをお招きし「健康で元気ないわぬまっ子を育てるヒント」と題して開催しました。

会場には乳幼児が遊べるスペースも用意されており、乳幼児の発達についての講話や乳幼児との遊び方、関わり方のヒントなどを学びました。参加した保護者は興味を持った様子で聞いていました。

6/16



▲花を植える皆さん

▶きれいに町を
色どりました

花のあるまちに

植栽活動

市内3カ所で「花や木のまちを創る岩沼市民ネットワーク」による植栽活動が行われました。沿道の事業所からも参加いただき、会員の皆さんとともに、マリーゴールドなどを植えました。

同会では、毎年6月と11月に会員の方へ花苗を配っています。各地域での植栽活動や、花壇をきれいにする緑化活動を行っており、現在、町内会をはじめ、子ども会や事業所など約60団体で構成されています。植栽活動や緑化活動に興味のある方は気軽にご連絡ください。
問/生活環境課(☎内線333)

6/20



▲お手持ちのスマートフォンで撮影しました

思い出をカメラにおさめて

記念撮影スポット「天使の花園」

市役所2階の市民ホールに、新しく記念撮影スポットが登場しました。市民課で結婚、出産、転入の届け出をされた方だけが特別に利用することができ、カメラ・スマートフォンを設置するための三脚やメッセージパネルなどの撮影グッズを貸し出しています。

撮影第1号となった引地さんご夫妻は「良い思い出になったので、周りの人にも岩沼市で届け出することを勧めたい」と話していました。

撮影を希望する方は、市民課の職員へお声がけください。
※届出書を持って撮影したい方は、受け付け前にお知らせください。

6/24



▲月の輪工法を実践する岩沼市水防団

河川氾濫の減災へ

水防工法訓練

阿武隈川左岸堤防で、「水防工法訓練」が行われました。岩沼市と名取市の消防団員ら約320人が参加し、合同で訓練を行いました。

6つある工法のうち、岩沼市水防団は、木を川に投入し、河川の流速を低減させる「木流し工法」や土のうを月の輪状に積み上げて堤防からの漏水を抑える「月の輪工法」、亀裂を鉄線で縫い合わせ、亀裂の拡大を抑える「籠止め工法」の訓練に取り組みました。

また、東北水防技術競技大会で最優秀賞を受賞した名取市水防団による工法も披露され、減災を目指した水防体制の確認に取り組みました。